

【レビ記4章】

「祭司は彼らのために贖いをしなさい。彼らは赦される。」21、26、31、35節

3.11の東日本大震災からすでに5年が経ち、その後の様子をTVで観ました。まだ復興できないで苦しんでおられる方々、いのちの大切さやいのちを失った方への思いなど痛ましい記事も報道されていましたが、このような災害が起こる度に思われることは、私たちの正しい死生観です。どこから来てどこへ行くのか?何のために?生きるとは?死ぬとは?・・・

4章は“あやまって犯した罪”について述べられてあります。罪を犯した人は傷のない動物(雄牛、ヤギ)を持ってきてその上に手を置いて(自分の罪をその動物に移す)ほふり、祭司は指をその血に浸して聖所の垂れ幕の前にその血を振り掛けるように命じられています。あやまって罪を犯したり過失であっても罪を犯したら、支払うべき“いけにえ”があるのです。人間は神のみ前に罪を犯したので死ぬのです。死が支払わなければならない報酬です。「罪から来る報酬は死です。」ローマ6:23「そして、人間には、1度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている～」ヘブル9:28「もし、ヤギと雄牛の血～それが聖めの働きをして肉体をきよいものにするとしたら、まして、キリスト～の血は、どんなにか私たちの良心をきよめて死んだ行いから離れさせ、生ける神に仕える者とするのでしょうか。こういうわけで、キリストは新しい契約の仲介者です。～」ヘブル9:13～15

礼拝の度に「この杯は、私の血による新しい契約です。」と言って聖餐式でブドウ酒を頂きますが、それは永遠の契約の血です。死ぬべき者が罪赦されて、永遠のいのちを頂いているとは何という幸いでしょう!この聖餐式を慎んで受けましょう!例え災害でいのちを落としても、この赦しとあがないを知っていれば、神と共に永遠のみ国、天国へ行けるという希望があります。またそこで再会できるのです。絶望ではありません。新約時代のクリスチャンは祭司としてこのイエス・キリストの贖いを伝えることができますように!「～私たちは、イエスの血によって、大胆にまことの聖所にはいることができますのです。～全き信仰を持って、真心から神に近づこうではありませんか。」ヘブル10:19～22

♪主の血潮 主の血潮 仰ぎ見て 主の力主の力注がれて

イエスのみ名により いのち受け イエスのみ名により 癒された♪

「義人の祈りは働くと、大きな力があります。」ヤコブ5:16



Siloam

2016年3月13日 No.884

(シロアム:遣わされた者 ヨハネ9:7)

新年度の御言葉

ルカの福音書3:2～4

「神のことばが、荒野でザカリヤの子ヨハネに下った。」2節

「主の道を用意し、主の通られる道をまっすぐにせよ。」4節



主の十字架クリスチャンセンター The Lord's Cross Christian Center

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>

